



北山村

議会だより

編集発行

和歌山県北山村議会

TEL 0735-49-2331

FAX 0735-49-2207



奥瀬道路・第2トンネル採掘現場（小森地内）を視察しました。

令和4年6月定例会が開催されました

令和4年度補正予算 条例改正案等を審議／可決 P 2

予算について議員が問う！ 全協・委員会での質疑内容 P 3

議員が村政を問う！ 一般質問 P 4～P 5

議会日誌 議員のひとりごと P 6

令和4年6月定例会 ～令和4年度補正予算

条例改正等を審議・可決、一般質問等を行いました。～

本定例会は、6月22日、24日（会期3日間）で開催されました。22日の開会日は、諸般の報告として、山口村長から行政報告並びに提案理由の説明が行われ、その後、議案の審議を行い、令和3年度の繰越事業の報告等、条例改正の議案、令和4年度補正予算などが審議されました。

議事の最後に、6月末で任期満了となる中島良範教育長に代わり、泉清久新教育長を選任する同意案が上程され、全会一致で可決されました。

2日目の24日は一般質問が行われ、久保隆俊副議長、藪本英明議員が村行財政についての質問を行い、活発な議論が行われました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

- 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて
（北山村税条例の一部を改正する条例）
- 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて
（令和3年度北山村一般会計補正予算（第8号））
- 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 報告第1号 令和3年度北山村一般会計予算繰越明許費の報告について
- 報告第2号 令和3年度北山村簡易水道特別会計予算繰越明許費の報告について
- 議案第22号 北山村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第23号 北山村育英奨学金貸与条例の一部改正について
- 議案第24号 北山村過疎地域持続的発展計画の変更について
- 議案第25号 令和4年度北山村一般会計補正予算（第1号）について
- 議案第26号 令和4年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第1号）について
- 同意第1号 北山村教育長の選任について

『泉清久』新教育長にバトンタッチ！ 中島教育長お疲れ様でした。



令和4年6月30日任期満了により、中島良範教育長が退任されました。令和2年7月から1期3年にわたり教育行政の長として重責を果たされましたことに、心から感謝申し上げます。
今後とも北山村の教育を見守っていただきたいと存じます。



令和4年7月1日から新しく教育長に就任されました泉清久教育長におかれましては、長期総合計画において「心豊かな人を育てるむらづくり」を基本目標に掲げる当村の発展のため、活躍されることを期待しております。



条例・予算について議員が問う！

全員協議会・委員会での主な質疑内容

【質問】北山村職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてはどのようなものか。

【回答】非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和と取得しやすい環境づくりを目的とした改正です。

【質問】育英奨学金貸与条例の一部改正はどのようなものか。

【回答】高校、大学の期間中に奨学金を借りるとかなりの額になり、卒業後に若い人が10年間で返すのは厳しい。今回の改正は返済期間を20年まで延長できるようにするものです。

【質問】村民会館のバリアフリー化改修工事について、換気のためにサッシを網戸にできないか検討してください。

【回答】蚊などの虫が多いので網戸は付けたいが、古いサッシなので、網戸のレールがありません。工事の際に網戸の取り付けが可能か検討します。

【質問】有償運送に対する補助について説明をお願いします。また利用者が多い場合に来年度以降も継続する考えはあるか。

【回答】通院等で有償運送を利用する場合の補助はこれまでもあるのですが、今回は買い物等でも利用する場合について補助するもので、今後継続して補助するかどうかは、利用状況を見ながら検討します。

今回の利用についても会員登録が必要で、また、1週間前の予約が必要で利用できるエリアも決まっています。

【質問】新じゃばら加工場の設計金額について、以前の設計から規模が縮小になっているので、もっと下がると思われるが。

【回答】全国的に資材が高騰しており、設計金額は下がらなかった。今後の社会情勢ではこれより上がってくることも考えられます。

【質問】新加工場ではかなりの量の水道水を使用すると思うが、七色渡の浄水場から取水して大丈夫なのか。

【回答】新加工場の敷地内に20トンのタンクを設置して、夜間に水を貯めて使用するので住民への影響はありません。

新型コロナ感染対策交付金により、今後次の事業が実施されます。

- 買い物支援バス車両購入（5,500千円）・・・古い村営バスの買い替え。
- 村民会館交流スペースバリアフリー工事（10,472千円）・・・現在は段差のある畳敷きの図書・交流スペースを段差をなくしフローリングにする工事。
- マイナンバーカードの普及に向けた地域商品券事業（4,870千円）・・・マイナンバーカードの取得者一人当たり1万円分の地域商品券を配布する事業。カードを取得されている方には既に商品券が配布されていますが、取得がまだの方はお早めをお願いします。
- おくところ温泉感染対策強化事業（1,001千円）・・・レストラン・ロビーに空気清浄機を設置する事業。
- 自宅療養者・待機者に対する食糧給付（700千円）・・・新型コロナの陽性者、濃厚接触者になり、自宅待機になった人に対して食料や日用品を配達します。
- 有償運送に対する費用の助成（330千円）・・・有償運送の利用者の費用の2分の1を補助する。医療機関の受診のほか、買い物等の利用に対しても補助を拡大します。
- 抗体検査費用の助成（330千円）・・・新型コロナの抗体検査費用を助成し、診療所で抗体検査が無料で受けられる事業。8月中旬から実施予定。

一般質問

長期総合計画を絵に描いた餅に しないように。 ご当地ナンバー制度の導入を！

藪本 英明



【質問】長期総合計画を絵に描いた餅にしないために、以下のことを質問します。

○概要版を各戸に配布してはどうか？

○役場職員に対する説明又は周知はしているのか。

○計画を実施するために各課はどのような予算措置をしているのか。予算書見る限りそれが見えない。

○実施計画のなかで計画期間は3年間とし毎年度の事業の評価・検証を行いながら見直しをするローリング方式とする。となつてはいるが、事業内容はどのようになっているのか、ローリング方式での検証等は誰がするのか。

【答弁】長期総合計画については配布用の概要版を作成しており、早急に各戸に配布いたします。

職員への周知については、計画策定にあたって庁内検討会議を設け、既存の個別計画の確認や各課ヒアリングなど行っており、計画書の素案を十分に確認してもらっています。

事業に対する予算については、10年後を見据えた計画なので、すぐに予算化できるものばかりではなく、計画事業の中には定住促進や空き家対策、子育て支援、図書スペース改修など既に実施中の事業もあります。今後、所管課と共同で個別事業の実施に向けた検討を行い、計画書をより具体化させていきます。

実施計画の評価や見直しについては、所管課で行う1次評価、全庁的に行う2次評価、また、村民や有識者からの評価を頂く外部評価などを適切に組み合わせ、評価を行う体制を構築します。

(尾中地域事業課長)

【質問】近年ご当地ナンバーが多数見受けられます。近隣では三重県の伊勢志摩ナンバー、奈良県の飛鳥ナンバー等があります。当地方でも何年か前に熊野ナンバー導入に向けた取り組みが官民一体となつて行われていました。どの様な理由で頓挫したのかは承知していませんが、今一度地域振興・観光面でも知名度アップに繋がると思われますので、ご当地ナンバー導入に向けた取り組みを広域で行つては如何でしょうか。

【答弁】ご当地ナンバーの導入基準は、登録車が5万台以上、または、普通車と軽自動車の合計が8万5千台以上となっております。

新宮市、東牟婁郡、田辺市での登録台数は約5万6千台、軽自動車を合わせて14万台で東牟婁郡のみでは条件を満たせない状況です。要件を満たすためには広域で取り組まなくてはなりません。各自治体が住民への周知徹底と合意形成を進めることが第一であり、現時点では各自治体において具体的な動きは確認されていません。

導入することによって、地域間の連帯を深め、地域の知名度の上昇や観光客の増加など地域活性化に繋がることも期待されますので取り組む価値はあると考えています。

(山口村長)

奥瀬Ⅲ期工事・第2トンネル現場視察

5月11日、総務建設常任委員会で奥瀬Ⅲ期のトンネル工事の現場の視察を行いました。この視察時はまだ掘りだしたばかりで、発破作業は行っていないませんでした。

現在、下尾井地区ではトンネル工事に伴う発破作業が始まつており、周辺住民は驚かれると思ひますので、7月14日、藪本委員長から国土交通省に対して発破を行う時間帯を区民に通知してほしいとの要請を行いました。



一般質問
池原ダムの水利権更新に伴う電源開発への要望の成果と今後の取り組みについて
久保 隆俊



【質問】平成23年台風12号の襲来を受けて甚大な被害を被りました。自然災害とされているが、利水ダム故に放水量に関係した水害と考えている。よって、水利権更新に伴う電源開発への要望についても被害状況を踏まえた17項目の課題を示し、これまで議会としても要望活動を行ってきた。本年度もコロナ感染対策の為、人数に制限がある中、5月19日に執行部と共に北山川流域対策委員会リーダーとして新たな課題を示し要望活動を行った。

【答弁】平成23年台風12号洪水

被害から10年が経過し、今なお洪水への不安、ダムに起因する課題が残されており、電源開発との交渉を行っています。

議会からも「ダムの耐震性や安全性についての課題」や「ダムの浸水エリアの見直し・七色竹原地区についても浸水地域とする要望」など問題が取り上げられ、議論されております。

今年に入って、1月～3月、実務者間で「地域振興計画への協力金」について対象事業の協議を進め、受け入れが正式に決定されており、5月19日、村長、久保委員長の出席のもと、電源開発(株)西日本支店長と面会を行っており、一つの区切りとして、両者間の信頼関係を構築するための、有意義な意見交換が行われました。

《今回の池原ダム水利権更新に伴う要望への対応について》
 七色・竹原地区についても浸水地域とする要望は、個別案件として取り上げて問題解決を図っていくことで合意し、現在、実務者レベルで調整しております。村の地域振興計画事業への協

力金として「じゃばら工場建設事業」「七色竹原堰堤撤去」を対象事業とすることで合意しており、7月上旬に協定書に調印する予定となっております。

観光筏下り等観光事業の中止に対する補償金の要望については、濁水対策、台風接近前の事前放流等により、放水日数が増加し、観光筏下り等の観光事業が長期間中止となっている現状にあり、欠航に伴う損害額を示し補償等を求めて参ります。

地震防災におけるダムの耐震性については、国の基準にそつて、巨大地震に対してダム本体の機能が失われない耐震性を有しているとの説明ですが、さらなる耐震性、安全性について説明を求めております。

小森ダムの追加買収で空き地となった土地等の管理については放置せず、環境整備、景観保全など、土地の有効活用を図る具体的な施策を求めています。

今後の取り組みについて、令和5年3月末の七色、小森ダム水利権更新への要望活動は、基本的には同じ手法で行ってまいります。このままでは「ダムに起因する問題」・「地域振興への協力」を強く訴えて参りたいと思っております。

具体的な進め方としましては、各地区からの要望や、消防団、観光協会、商工会など関係団体との意見交換を交え、議会委員会で十分審議した上で、引き続き、電源開発との要望交渉に臨んでいきたいと考えております。
 (尾中地域事業課長)

【質問】今後も電源開発とは共存共栄の取り組みを図るべきと考えている。七色ダム、小森ダムの水利権更新に向けて、地場産業の継続的な支援等の交渉についてお聞きしたい。

電源開発はこれまで「ダムに関連性のない事業や長期に亘る事業については支援の対象外」というスタンスですが、これは納得しがたく、ダムが完成して60年間共存しています。ダムが存在する限り様々な問題や課題が発生する。水利権に関わらずダムが存在する村として地域振興に協力をお願いしていきます。

今回の七色・小森ダムの更新で全て決着すると考えておりません。
 次の更新に向けて、交渉記録を整理し、しかるべきセクションを設け要望活動を継続し20年後につなげていきます。
 (山口村長)

議会日誌

5月(皐月・さつき)

- 3日 観光筏下り安全祈願(オトノリ筏乗場)
- 11日 総務建設常任委員会 陳情箇所視察
- 新宮建設部への要望活動(新宮市)
- 奥瀬道路第2トンネル小森現場視察
- 19~20日 電源開発西日本支店への要望活動(大阪府)

- 25日 国道169号改良促進協議会総会(新宮市)
- 26日 県町村議会議長会総会(和歌山市)
- 27日 近畿自動車道期成同盟会(紀宝町)
- 29~31日 全国町村議会議長会 議長・副議長研修会(東京都)

6月(水無月・みなづき)

- 3日 総務建設常任委員会(村民会館会議室)
- 3~4日 国会議員への要望活動(和歌山市)
- 14日 議会運営委員会(役場)
- 16日 全員協議会(村民会館会議室)
- 22~24日 6月定例会(役場)

7月(文月・ふみづき)

- 4日 熊野川流域対策連絡協議会(新宮市)
- 11日 県町村議会議長会 理事会(和歌山市)
- 14日 総務建設常任委員会(村民会館会議室)
- 27日 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会(和歌山市)
- 29日 高規格道路建設促進協議会総会(和歌山市)

8月の予定

- 2日 新宮周辺広域議会 月例監査(新宮市)
- 18日 東牟婁郡町村議会議長会 臨時総会(串本町)
- 23日 県町村議会議長会 県知事要望(和歌山市)
- 30日 紀南地方里親支援連絡会(田辺市)
- 31日 新宮周辺広域事務組合議会(新宮市)

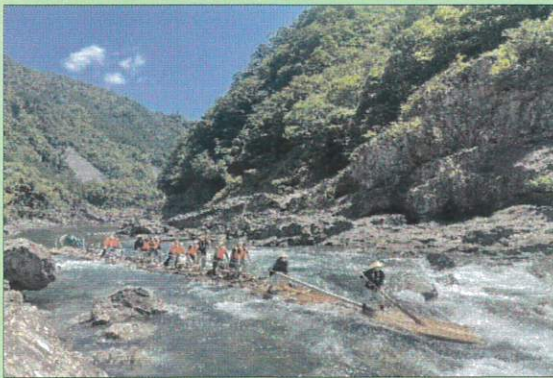
四季折々の村の風景

言わずと知れた夏の風物であり、村の誇り、筏下りです。

8月8日には、日本ジオパーク再認定審査のために、審査員が乗船します。村には壮大なジオサイトはありませんが、ジオパークを窓口とした筏下りやラフティングの観光客の増加を期待します。

議会広報委員

山口 廣一郎 藪本 英明



観光筏下り(オトノリ) 北山村観光協会Instagramより

議員のひとりごと

夕暮れ時、遠くの山々を眺めていると無条件で悩みやよからぬ雑念、妄想が消え去り心が落ち着きます。今回ふるさと北山の言葉・方言を独断と偏見で書き出してみました。

◇せんざり「一生懸命」◇つんづるかぶ「破れた衣服」◇あながえ「我が家」◇だいるく「大きい」◇でかばいち「特大」◇まいせい「やめとけ」◇おおごく「根性なし」◇おとしやれ「とんでもない」◇ぐえる「崩れる」◇さぶしない「柄にもない・寂しい」◇さあて「先日」◇きんの「昨日」◇すかつぱ「びんだ」◇せんちなげ「トイレ」◇すったのかびたの「文句の意」◇ちんこべ「極めて小さい」◇めめりくそ「極めて少ない」◇ど身の毛立つ「ぞっとする」◇とばかす「スピードを出す」◇へはち「ゴキブリ」◇びつかり「じゅくし柿」◇ひゃんがら「多くの意」

◇はいらず「残ったおかず入れ」◇ひだりい「空腹」◇ひつきよぼうし「食にいやしい」などなどほんの一部ですが、羅列しました。時代とともに失われつつある言葉・方言は、その土地の文化と伝統です。

私たちは村と自分との関わりを考え、愛着心をもって方言を再認識し、北山村に第2のふるさととして移住された方々と共に、先人から引き継がれた郷土文化を皆で守り継いでいけたらと思います。

村民の皆様におかれましては、新型コロナウイルスを含む国内外の不安定な実情や、梅雨の戻りと高温多湿の毎日で、精神的にも肉体的にも厳しい毎日を送っていると思います。体調と感染予防に十分気を付けてお過ごしください。

北山村議会議員 山口廣一郎